

2017年度決算報告

売上高 180,793 百万円、経常利益 418 百万円

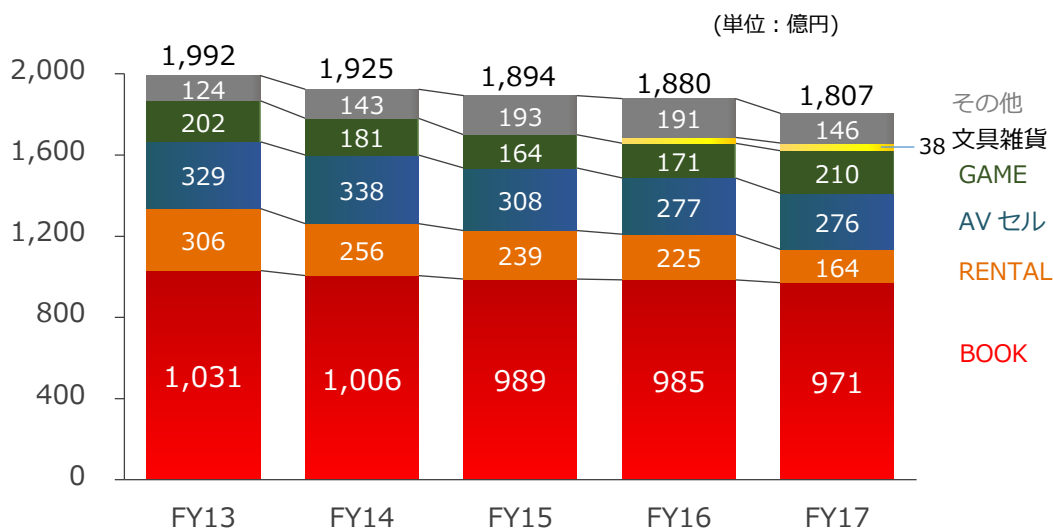
TSUTAYA 店舗で取り扱う商品の商物流事業会社、株式会社MPD（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 奥村景二）の2017年度の売上高は、180,793 百万円（前年比 96.1%）、経常利益 418 百万円（前年比 49.5%）の減収減益の決算となりました。

2017 年度は、コンテンツ配信多様化の拍車を背景にパッケージビジネスの低迷や宅配運賃の値上等、当社を取り巻く環境にも変化が顕在化した1年でした。MPD のアイテム別売上高では、書籍・雑誌の合計は微減（前年比 98.6%）、レンタル商材においては、配信サービスの充実を背景に市場の落ち込み影響を受け、大きく減収となりました（前年比 73.2%）。販売用音楽・映像ソフト等の売上についても減少しましたが、プリペイドカード（POSA：Point Of Sales Activation）の取り扱い数が増加し、全体的には微減にとどまりました（前年比 99.6%）。GAME については、「Nintendo Switch」のハードに加え、専用ソフト・サプライ商材や PlayStation 4 のソフトが堅調に売上を伸ばし増収となりました（前年比 122.2%）。また、文具雑貨事業においても TSUTAYA パッケージのリニューアル化による店舗拡大は継続しており、増収となっております（前年比 131.2%）。

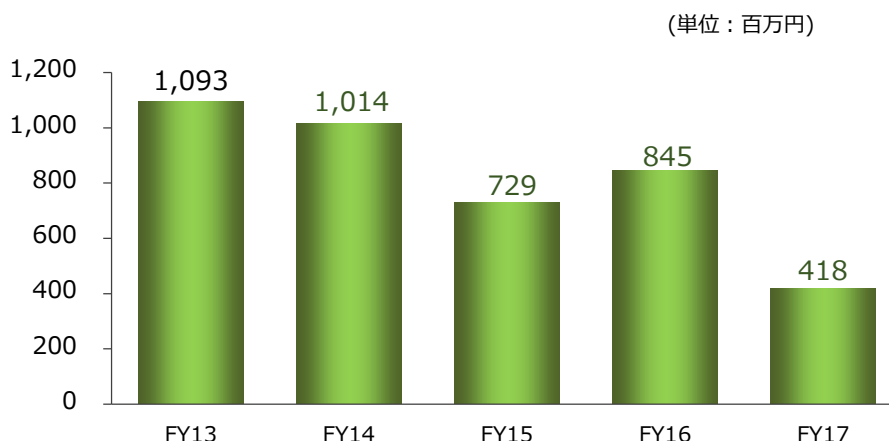
経常利益は、レンタル商材の減益を他商材アイテムによるカバー及び上期に引き続き経費圧縮に努めましたが、商材アイテムバランスの変化による原価率の上昇や物流費用等の上昇をカバーすることができず、減益決算となっております。なお、法人税等を加減した当期純利益は 212 百万円（前年比 35.9%）となっております。

■ 2013 年～2017 年度売上高・経常利益

【売上高】



【経常利益】



■ 対処すべき課題と 2018 年度の見通しについて

2018 年度は第 5 次中期経営計画の 1 年目となります。

市場の変化が加速している卸パッケージビジネス事業の変革・挑戦においては、昨年度に引き続き BOOK に関して、雑誌及び書籍の仕入販売方法における出版流通改革を推進し、お取引様の収益改善に貢献いたします。成長を続けている文具雑貨事業においては、引き続き導入店舗を拡大するとともに、文具物流の生産性を上げることで事業を強化して参ります。

物流事業においては、取り巻く環境の変化のスピードに対応すべく、拠点の統合、リサイズを実現し、現在の TSUTAYA パッケージに対するサービスだけではなく、一般の店舗様、企業様に対してのサービスを拡充することで、あらゆるお取引様に対しての物流の効率化と更なる価値のご提供を目指します。

また、TSUTAYA の新業態である草叢 BOOKS に対するサポートでは、未来を担う新たな書店像への挑戦を行い、地域の皆様に愛される店舗へと成長させるべく、様々な商品、イベント等をご提案、ご提供いたします。

2018 年度も市場環境は厳しい状況が予想されますが、物流インフラの強化、卸事業や物流を起点とした新規事業への参入等を推し進めることで、新たな企業価値の創造にチャレンジして参ります。

《株式会社 MPD 概要》

本社所在地	東京都渋谷区南平台 16-17 渋谷ガーデンタワー13 階
代表者名	奥村 景二
事業内容	・書籍、雑誌、音楽、映像ソフト、ゲームソフト、文具雑貨 等の卸販売 ・エンタテインメント関連商材の卸販売 ・関連商材の卸販売、中古品（音楽、映像、ゲームソフト等）の売買 ・レーベル事業

<本件に関するお問合せ窓口>

株式会社 MPD 広報室：北見、諏訪部

TEL 03-5784-5030